

パースペクティブ・アーキテクチャ

小川重雄写真展
2011.9.17 sat ~ 24 sat

はじめて岩見沢複合駅舎を撮影したのは2009年の夏

そして半年後

再び冬の岩見沢複合駅舎を撮影した

2年後のいま、あらためて自分の写真を眺めると

「パースペクティブ」という言葉が浮かんだ

建築写真の画面内には、必ずパースペクティブ - 透視画的遠近感 - が存在する

特にこの岩見沢複合駅舎は、長大な建築であり

画面内のパースペクティブが強い

そして、この建築には、風土や歴史を想起させる、時の流れがある

過去から現在、そして未来へと繋がる

時のパースペクティブ

小川 重雄

■ ギャラリートーク | 9.24 sat 17:30~ START

ゲスト | 小川重雄(建築写真家)・西村浩(建築家)・三橋純予(北教大岩見沢校芸術課程准教授
元東京都写真美術館学芸員)

会場 | 有明交流プラザ 市民ギャラリー (岩見沢複合駅舎内)